

金属材料事業

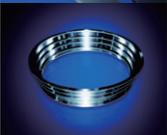
特殊鋼製品

注力事業の市況回復取り込みとモノづくり力の再強化

工具鋼・産機材関連は、マザー工場である安来工場のモノづくり力の再強化を進めるとともに、高付加価値製品へのシフトを図ることにより、コスト競争力を向上させます。また、工具鋼大規模物流拠点を設置し、物流と加工の効率やサービスの向上を図ります。航空機・エネルギー関連は、COVID-19拡大の影響により需要の立ち上がりが遅れるものの、中長期的に回復が見込まれるため、市場の回復時期を見据えて航空機エンジン部材を新規顧客へ認定取得活動を推進します。電子材は、有機ELパネル用材料、車載バッテリー用材料など、成長市場向けの製品の拡販を行います。

ロールについては、国内シェアを維持するとともに中国・韓国・米国・欧州といった海外への拡販を行います。

トピックス

工具鋼		<ul style="list-style-type: none"> ● 高付加価値品へのシフト ● 大規模物流拠点設置による効率・サービス向上
産機材		<ul style="list-style-type: none"> ● 高付加価値品へのシフト
航空機 エネルギー		<ul style="list-style-type: none"> ● 航空機エンジン部材の新規顧客への認定活動推進

電子材		<ul style="list-style-type: none"> ● 有機EL普及に伴う、ディスプレイ向け部材の大幅な拡販
ロール		<ul style="list-style-type: none"> ● 新製品の投入と海外拡販(中国、韓国、米国、欧州)

素形材製品

事業構造改革による収益性改善

素形材事業について、自動車用鋳物製品等を生産する米国Waupaca社ペンシルバニア工場を2020年8月に閉鎖し、収益性向上を図ります。また、Horizontal moldingの導入や自動化等の設備投資を推進するとともに、商用車・建機・農機・産業機器等のヘビーデューティー分野の拡大により、事業基盤を強化します。自動車用鋳物については、2020年9月にアルミホイールの生産を終了しました。

一方、耐熱鋳造部品は、新鋳造法の適用を拡大させ省力化の推進により収益性向上を図ります。配管機器は、圧力式マスフローコントローラ、特殊合金配管、水処理用吸着フィルタなど新製品を開発し、収益性向上につなげます。

トピックス

Waupaca社		<ul style="list-style-type: none"> ● ペンシルバニア工場(Plant 7L)閉鎖  <ul style="list-style-type: none"> ● Horizontal molding / 自動化等の設備投資 ● ヘビーデューティー分野(商用車、建機、農機、産業機器)拡大
----------	---	---

自動車 鋳物		<ul style="list-style-type: none"> ● 耐熱鋳造部品の新鋳造法の適用拡大、省力化推進
配管機器		<ul style="list-style-type: none"> ● 新製品(圧力式マスフローコントローラ、特殊合金配管、水処理用吸着フィルタ)開発による収益性向上